

第22回 奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ開催のご案内

音楽のたのしみ

今回は、季節にふさわしい親しみのある音楽曲集を様々な演奏スタイルでお楽しみいただけるようにしました。ピアノのソロ演奏や声楽による歌曲集では本学教員が、フルートアンサンブルでは本学音楽専修の学生達が出演し、さらに奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校室内楽部のみなさんの賛助出演も予定しております。色とりどりの音の響き合う様をお聴きいただきながら寛ぎのひとときとなりますと幸いです。

日時：11月16日(土) 14:30～16:00
場所：奈良学園大学3号館1F オープンコモンズ
定員：50名(定員に達しましたら、募集を締め切らせていただきます)



奈良学園大学
人間教育学部
人間教育学科
青山 雅哉 先生



奈良学園大学
人間教育学部
人間教育学科
森瀬 智子 先生

こちらから
申込みください。



第22回登美ヶ丘カレッジ
申込フォーム

各種公開講座が開催されました。

第20回
登美ヶ丘カレッジ開催

7月13日(土)
「子どもの健康と発達 ―繊細な子どものからだと生活の密接な関係―」
講師：保健医療学部 看護学科 小池 伝一 先生



子どもたちの成長発達は著しく、身体的な成長発達を促すことで子どもたちの心身の健康を保つことができます。成長発達を促す関わりは、子どもたちの周囲の大人にとって大きな役割と言えます。今回その点を中心に、子どもたちの成長発達と健康との関係や大人たちの役割を具体的に紹介させて頂きました。参加者の皆様の子どもと成長発達と健康との関係について関心の高さを感じる講演でした。

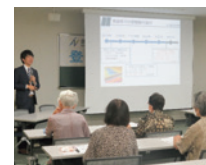
第21回
登美ヶ丘カレッジ開催

9月15日(日)
「健康増進における身体活動と栄養の重要性 ―奈良市健康測定事業の傾向も踏まえて―」
講師：保健医療学部 リハビリテーション学科 中島 大貴 先生

今回、健康増進を主なテーマとしてお話をさせていただきましたが、多くの方々にご参加をいただき、皆様の健康増進に関する関心の高さを実感いたしました。

我々は奈良市での体力測定会を開催しており、その結果を踏まえて健康づくりにご活用いただける情報もお伝えしました。これまで公民館や健康増進事業などでお話ししてきた内容に加えて、社会的なつながりの重要性もご理解いただけたと感じております。

60分という時間の中で、十分にお伝えできていない点や現在調査中でお伝えできていないこともあります。今後も皆様の健康づくりに有用な情報を提供できるよう、積極的に活動を行っていきたいと考えております。また機会がございましたら、新たな内容もお伝えし、皆様と意見交換をさせていただく中で、健康について考えていきたいと思っております。



けいはんな学研都市
7大学連携市民公開講座

9月6日(金)
「アバターを用いた新しいリハビリテーションの紹介 ～自分のアバター(分身)が活躍する未来～」
講師：保健医療学部 リハビリテーション学科 辻下 守弘 先生



多くの方に参加いただき無事に講演が終了いたしました。バーチャルリアリティの空間におけるアバターを用いた新しいリハビリテーションは、最先端研究を目指すけいはんな学研都市に馴染む研究課題と考えております。講演後も参加者から数多くの質問を寄せいただき、この研究課題に強い関心を持っていただいたことをうれしく思います。2025年度には、けいはんな万博が大阪・関西万博と同時開催され、本学もバーチャル・リハビリテーションへの挑戦と題した展示を行う予定です。このけいはんな万博では、多くの参加者にバーチャル・リハビリテーションを体験いただきたいと思います。

ニューズレター第15号 編集後記

猛暑の長い夏を乗り越えて、ようやく秋本番という候となりました。夏のオープンキャンパスで本学学生や教職員と交流し、施設を知って頂いた多数の高校生が今度に入試のためにまたこのキャンパスに来訪いただいております。地域の皆様にも「奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ」でも心身の健康をめざして、芸術の秋など音楽を通して楽しんで頂けたらと存じます。

加えて、奈良学園の歴史をスタートさせた奈良文化女子短期大学時代から継続してきた「こども・子育て」に関して、も以下の特別企画をご提供させていただきます。(HPもご覧ください。)

地域づくりを担う子育て世代の多くの皆様にもご参集頂けますよう、心からお待ちしております。

*1回だけでも、どの回だけでも、何回でも参加できます。各回のQRコードよりお申し込みください。

第1回 10月16日(水)

「子どものこころと『安心感』」

「安心感」を育む子育てについて、一緒に考えましょう。ミニ講義の後、日頃の子育てについて参加者同士で話し合いながら進めます。

講師：高橋 千香子(人間教育学部 准教授)
定員：保護者8～10名
(お子様も一緒の場合は別室で教員・学生と過ごします)

第2回 10月30日(水)

「こころと自然～自然体験活動が育む力とは？」

親子での楽しい「幸はり体験」を通して、土に触れる自然体験活動が育む子どもの力について体感しましょう。(学生も参加します。)

講師：高岡 昌子(人間教育学部 教授)
定員：未就園児のお子様と保護者様7組

第3回 11月20日(土)

「こころとつながり～小学校入学前後で大切にしたいこと」

入学前後は、子供にも保護者にとっても大きな「環境移行期」です。「とまどい」事例を通してドキドキをワクワクに変えていきましょう。

講師：善野 八千子(人間教育学部 特任教授)
定員：小学校入学前後の保護者 30名
(お子様も一緒の場合は別室で教員・学生と過ごします)

第4回 12月7日(土)

「ママのためのリフレッシュセミナー」

少しの間「母親」から離れ、「私」の時間を過ごして「心のリフレッシュ」をしてみませんか。参加者同士の交流を交えながら進めます。

講師：服部 律子(保健医療学部 教授)
対象：未就学児を子育て中の母親 30名
(お子様も一緒の場合は別室で教員・学生と過ごします)

奈良西警察署のご紹介

「奈良西警察署」を紹介いたします。
奈良西警察署長／岡田 俊則



奈良西警察署は、奈良市西部を管轄する警察署として昭和59年に新設され、令和6年11月に開署40周年を迎えます。今年3月には、富雄南交番の移転新築や西大寺交番を中心とした地域の奈良警察署への移管があり、現在は奈良市学園南3丁目に所在する警察署と管内5交番(あやめ池、学園前、中登美、富雄駅前、富雄南)を拠点に、「日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現」に向けて、日夜活動しています。

当署では、奈良学園大学の協力を得て、学生対象の防犯講習を開催しているほか、奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校の放送委員会から、犯罪や交通事故の防止を呼びかけながらパトロールする「メロディーパトロール」のアナウンス音源の提供を受けて活用するなど、大学等と連携した取組を推進しています。

最近の治安情勢は、SNS等を利用した投資詐欺やロマンス詐欺が増加しているほか、依然として子供や高齢者が関係する交通事故も発生しています。

治安を担うという重責を果たすには、警察の活動に加え、それに対する住民の皆さまのご理解、ご協力が必要となります。

これからも、皆さまの声を警察活動に反映しながら、より信頼される警察署となるよう、署員一丸となって取り組んでまいります。



「人を支える人」の育成にコミット



前学長
辻 毅一郎

奈良学園大学の卒業生の多くは、保育・教育、保健医療の現場に赴き、乳幼児・児童・生徒、医療を受ける人とその家族など、様々な人に深く関わってゆきます。どの現場でも、スキルを持ち人間力豊かな「人を支える人」が必要です。奈良学園大学はそのような人を創り、育てることに邁進しています。

人間教育学部は、その真新しい学舎に、ガラス張りの教室、教員の研究室、書架に囲まれた専修ごとのラーニングコモンズを設置し、斬新な修学環境を提供しています。保健医療学部は、大学院を併設し、集中治療室など、どこにも負けない実習設備に加え、最新のデジタル計測装置を備え、実践的な学びと先端研究の場を整えています。

教員は、基礎を教えることはもとより、課題の発見と解決に繋がる研究にも力を注ぎ、近隣の研究施設や社会団体との連携を強め、成果の社会実装も視野に入れています。教職員は協働して、卒業生が誇る「学生との距離が圧倒的に近い」関係を築き、部活やボランティア、海外研修などへの参加を促し、あらゆる場面に対応できる豊かな人間力が培われるよう、力を尽くしています。

一人ひとりを「人を支える人」に育て上げる奈良学園大学の挑戦に期待しています。

奈良学園大学の教員紹介

奈良学園大学 人間教育学部 人間教育学科

富山 敦史 先生



2023(令和5)年度に着任しました。学びに困難を抱える児童生徒が安心して学ぶ喜びを実感できる授業や学習環境・支援のあり方を研究しています。学びを支える文字の読み書きを媒体にした中国古典文学・思想の生き抜く知恵やレジリエンスの継承・発展を基盤に、文字の読み書きや学びに困難を抱える子どもたちが、自分自身で必要な学びの方法を選び取るための学習環境や支援のあり方、それらを実現するための魅力的な国語科教育の構築を目指しています。学生諸君や教育現場の先生方、地域の皆様とともに誰もが生きやすい社会づくりに貢献したいです。

奈良学園大学 保健医療学部 看護学科

嶋田 理博 先生



専門は宇宙物理学です。天文学の普及活動にも力を入れており、地域の方々向けの天体観望会や天文講座を年間十数回開催しています。

私の担当科目に「自然科学の基礎」という科目があるのですが、15回のうち8回の授業で「宇宙人はいるか?」というテーマについて考えています。「宇宙人」というとSFかオカルトのように思う人もおられるかも知れませんが、宇宙人がいるかどうかを科学的に考えようとなると、天文学だけでなく、生物学、生化学、地質学、気象学、海洋学、考古学、人類学などの知識を総動員しないと答えを出せませんし、そもそも正解はありません。学生には、そのような学びを通じて、科学的な思考とは何かを理解し、学際的な学びを感じ取ってもらえればと考えています。

奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

笹野 弘美 先生



私の専門は予防理学療法学・地域理学療法学で、大学では地域理学療法学や福祉用具・生活環境論などの授業を担当しています。理学療法士の対象は身体に障害のある方ですが、現在は健康増進や介護予防の分野も対象となっており、私は研究や学外での活動としてフラダンスを活用した健康増進・介護予防教室を開催しています。今後も「住み慣れた地域でその人らしく元気に歳を重ねる」ためのお手伝いができればと思っています。

卒業生からのメッセージ



奈良学園大学
保健医療学部
リハビリテーション学科
2期生
志田 亮駿 さん

私は、京都府内の病院に就職しました。未熟な点ばかりですが、患者様やご家族様の生活をデザインする仕事として、とてもやりがいを感じます。

奈良学園大学では、知識・技術・人との関わり方などの多くを学ぶことができる環境があり、就職してからどれもが大切なことだけと気付きました。

皆様も、学業で辛いと感じてる方が多いと思いますが、就職してからは大きな自信に繋がりますので、お互いに頑張りましょう!



在学生からのメッセージ



奈良学園大学
人間教育学部
人間教育学科
2回生
西田 さくら さん

私は人間教育学部で中学校・高等学校の国語科教員を目指して学んでいます。このほか、副免許として特別支援学校の教員免許取得も目指しています。特別支援について学ぶことで、障害の有無にかかわらず多くの生徒に国語の楽しさを伝えられる教師になりたいと考えています。

課外活動ではオープンキャンパススタッフや学友会活動を行っており、おかげで多くの貴重な経験をしています。特に学友会では、大学祭などの運営に関わるため、メンバーだけでなく地域の方など外部の方々とも接する機会が多く、コミュニケーションの難しさを知るとともに人と関わる楽しさを感じています。

今後も大学内外を問わず様々な人と関わっていくことで、本学のモットーである「人を支える人になる」ことを目指したいです。

参加者の笑顔を広げるオープンキャンパススタッフの熱い思い



2024年度は、オープンキャンパスを9回開催しました。企画・運営は、1、2年生のスタッフと学部の先生方が力を合わせ、参加者の方たちの心に残るようなオープンキャンパスとなるよう取り組んできました。

私たちが常に大切にしてきたことは、先輩たちが作り上げてきた、スタッフ間の温かい雰囲気です。オープンキャンパスをより良いものにしていこうと学年や専修を超えて話し合い、連携を深めてきました。

そして、参加者の方に、「来て良かった」と思って頂けるよう、全力でおもてなしをしてきました。そうすることで、参加者の方たちが笑顔になってくださったり、中には複数回参加し私たちの顔と名前を覚え、声をかけてくださったりする方もおられ、大きな喜びを味わわせて頂きました。

今後も、オープンキャンパススタッフの熱い思いを引き継ぎつつ、常にブラッシュアップを図りながら、さらに多くの方たちが来校して下さるよう、全力で奈良学園大学の良さを発信していきたいと考えています。

文：平田一稀(人間教育学科2回生) 文責：西江なお子

